

Z会進学教室 葛西通信 9月号

葛西教室に通う本科生の皆さんは、以下の四点を心がけるようにしましょう。

- 1 進学塾に通う中学生としての自覚を持つこと。
- 2 信頼の土台となるあいさつをきちんとすること。
- 3 書くことを大切にし、ノートをしっかりとること。
- 4 自習室を上手に利用し、自分で考えてもわからないことは遠慮なく先生に質問すること。

講演会レポート

夏の特別企画講演会

「都立の先輩に聞く！」

「千葉県立高校の先輩に聞く！」

今年も夏が終わりました。夏期講習が終わり、普段の本科の授業に戻り、教室は少しだけ静かになった気がします。しかし夏期講習を経て一回りも二回りも成長した生徒さんたち。なんだかみんな「自分はたくさん勉強したぞ！」という自信がみなぎった顔をしている…そんな気がする今日この頃です。9月から新しく入会した生徒さんたちとともに、9月から本科2期がスタートです。

ここ数年、夏の特別企画として葛西教室で行う講演会があります。それが去年の葛西通信でもご紹介した「先輩に聞く！」です。葛西教室を卒業していった先輩たちが、今通っている学校の様子や自分がZ会に通っていた時の体験談等をお話してくれる特別企画です。今年は7月15日（日）には「都立の先輩に聞く！」、7月16日（月祝）には「千葉県立高校の先輩に聞く！」ということで、今年の3月に葛西教室を巣立っていった高校1年生、計9名が集まってくれました。高校生になり少し大人びた卒業生たちは、大教室をいっぱいにした生徒、保護者様の前で、およそ2時間、笑いあり、涙ありの話をしてくれました。実はこの「先輩に聞く！」、もっと開催してほしいという声にお応えし、8月25日（土）にも「日比谷の先輩に聞く！」「難関私立に先輩に聞く！」という2つの特別企画を実施しました。こちらの講演会レポートも次回以降の葛西通信で取り上げてみたいと思います。今しばしお待ちを…。

この特別企画を行うにあたり、講演者として話してもらおう高校生たちに声をかける必要があります。様々な反応をもらいます。

「自分が中学生の頃からいつか前で話してみたいと思っていました！頑張ります！」

「え…自分が話すんですか…？自分そんな対した先輩じゃないですよ…」

やる気満々の先輩から恐縮する先輩まで。本人の性格が色濃く出るものなのだなあと毎年感じます。

しかし講演会が始まるとみんな本当にしっかり話してくれる。毎年良い意味で期待を裏切ってくれます。



この特別企画が人気な理由がよく分かる気がしますね。

そしてこれも毎年思うこと。それは「みんな人前でこんなにも堂々と話すことができるのか…！」ということです。今回話してくれた先輩たちは皆高校 1 年生。つまり昨年は中学 3 年生、人によっては客席側でこの特別企画を聞いていた人もいられるかもしれません(実際そういう人が大多数です)。1 年経ってこんなにも立派に成長するとは…驚かされることばかりです。

話を聞いていて印象的だったことを 1 つ。先輩たちの「後輩たちに伝えたい！」という気持ちがものすごく強いこと。「頼まれたからとりあえず聞かれたことに対して思ったことを言えば良いかな～」のような受け身の先輩たちは一人もいませんでした。1 つ聞いたら 10 返ってくる、とてつもなく勢いのある先輩たちの回答ばかり。終始講演会は、笑い声、そして感嘆の声に包まれていました。気持ちがあふれてしまったのでしょうか、中には後輩たちへのメッセージを伝える場面で涙ぐむ先輩もいました。まさに笑いあり、涙あり、の会だったなということです。

次のページから、今回講演してくれた先輩たちが皆さんへのメッセージを掲載しています。分量の制限はないよ～と話したところ、どの先輩たちもいっぱい書いてくれました！本当に良い先輩たちばかりだなと嬉しい気持ちになります。来年、再来年、今この葛西通信を読んでいるあなたたちの中から、先輩として新しい後輩たちにメッセージを書いてくれる人が出てきてくれることを切に願っています。

講演者からのメッセージ

A・Iさん 戸山高校 1年生

本当に合格したいと思えるような高校を見つけて下さい。目標ができれば、勉強もはかどると思います。また、受験勉強が辛いと感じる時期が来ると思います。私も、Z 会のテストや過去問の点数がのびず、苦しい時がありました。しかし、Z 会の先生、スタッフの方々が、励まして下さったり、Z 会の教室生が集中して勉強している様子を見たりして、モチベーションを上げることができました。Z 会の先生方は、授業以外の様子も見えてくれます。各教科の質問以外にも、勉強法を聞いたり、受験について相談したりすると良いでしょう。最後に、これから勉強漬けの毎日になると思います。受験日まで地道に努力を重ねていけば、きっと結果につながります。これからの勉強頑張ってください。応援しています。高校楽しいよ！！

T・Oさん 小山台高校 1年生

受験は、はっきり言ってすごく大変です！！今までにしたことがないくらい長い時間時間勉強したり、良い点数がとれなくて落ち込んだり…でも、そんな辛い時期も行きたい高校があればのりこえられます。最後の最後まで頑張れば、志望校に受かって落ちても、楽しい高校生活が待っています！最初は勉強は楽しくないし、やりたくないと思うかもしれませんが、やっていくうちに、あと一問、もう一問！と、おのずと勉強時間も増えていきます。大切なのは、どうしてもいきたい！と思える高校を見つけることと、悔いの残らないように勉強することです。受験生のみなさん頑張ってください。

A・Kさん 新宿高校 1年生

私が伝えたいことの1つ目はこの夏に偏差値を気にすることなく、たくさんの高校見学に行くことです。私の場合、最後の最後まで志望校ですごく悩みました。だから、はやくからでも、高校に興味をもち自分が行きたい高校を見つけて、そのために努力することが大切だと思います。2つ目は、自分が決めた「勉強をする時間」の中で偏りなく勉強することです。都立の場合、5教科をきちんと勉強する必要があります。自分の得意な教科だけやっていると後々本当に大変です。今からでもできることはコツコツやったほうが良いと思います。3つ目は先生方や両親の方への感謝を忘れないことです。講演で言ったように私はたくさんの感謝でいっぱいです。みなさんがまだ感じていなくてもきっとこれから入試が近づくにつれてたくさん感じると思います。最後に、高校生活は中学生生活とちがうところがたくさんあるけれど、毎日が充実していて楽しいです。もし、これから行き詰まったとしても絶対にあきらめないで頑張ってください！！志望校にうかるよう応援しています！！

N・Oさん 戸山高校 1年生

受験生の皆さん、この夏からさらに勉強が大変になっていくことと思います。そこで、私が皆さんに伝えたいポイントが3つあります。

1. 残りわずかな中学校生活を全力で楽しむ。

塾の勉強でいっぱいになってしまいかもしれませんが、中学校生活も enjoy してください。私も夏休みまでは友達と遊びに行ったり、また、秋までは部活を続けていました。勉強との両立は大変でしたが、人生で1度しかない中学校生活、楽しまないと損ですよ！笑

2. 人との対話を大切にする。

勉強ばかりしていると、意外と人と話す機会って少ないものです。すると精神的につらくなってしまいます。(少なくとも私はそういうタイプでした。)ですから、友達や、塾や学校の先生、親などと積極的に話してみてください。趣味のことで勉強のことで何でもよいと思います。つらいときに話せる相手がいるのは心強いことですし、また、相手がつらそうなときは話を聞いてあげると良い人間関係が築けると思います。

3. 他人と自分を比べすぎない。

夏期講習の後のテストや模試など他の人より自分は頑張っているつもりなのにどうしても結果がおもうようにいかない！どうして！？と思って焦ったり落ち込んだりすることはあると思います。しかし自分は自分、他人は他人と割り切ってしまうでしょう。自分は自分なりに頑張っていると認めてあげたうえで、どこが足りなかったのかを冷静に考えましょう。私は受験期、他人と比べてばかりでとてもつらかったので、こうすればよかったなーと今さらながら思っています。

なんだか直接勉強に関わりそうなアドバイスではありませんが、よかったら参考にしてみてください笑 皆さんが悔いのない受験ができるよう応援しています！！

Y・Cくん 日比谷高校 1年生

僕の好きなアイドル（ももいろクローバーZ）の曲の中に、「モノクロデッサン」という曲があります。この曲は五人の女の子が人生という道を歩みながら、未来の夢をまるで絵画のように描いていくという曲です。この曲の一節にこんなものがあります。

「僕らは人生（パレット）の上でいろんな色と出会いながら、
真っ白な人生（パレット）をうめつくしていく、いろんな願い込めて僕ら夢を描いてゆく」
つまりこういうことです。人生はパレット、自分の夢を描くための道具。色は感情、様々な人に会ったり、出来事を経験していくことで、感情が湧き出る。神さえも知らぬこの先の人生を、そして夢を描いていく。皆様の場合はどうでしょうか？多くの素敵な色、大切な色、つまりは、素敵な、大切な人、出来事に会って、そして経験してますか？この歌の歌詞にはつづきがあります。

「情熱（赤色）に涙を足して紫色が出来る、
うまくいかない日は不安や孤独に耐えぬいて、
希望（黄色）に涙をたして緑の色が出来る、
疲れたら一休みしてまた歩き出せばいい。」
美しい絵画には、やはり多くの色が必要、多くの色を手に入れるためには、時に、つらいことや、悲しいことを経験しないとイケない、こんなふうな曲は教えてくれます。
これから歩いていく皆様の人生、特に高校受験生にはきっと多くの出来事が待ちかまえてます。



「模試の結果がふるわなかった」、「先生に怒られた」「合格できるかどうかわからない」、「勉強なんてもういやだ」時に涙を流すこともあるでしょう。

でも、それは、あなたの夢を描くための色が増えている証拠です。

涙を流すのは、あなたが、それだけ自分の人生に真剣に向き合っている証拠です。

あなたが高校受験で感じ取ってきた感情、これから感じる感情、出来事、全部、全部、あなたの人生に彩りをもたらしてくれる“色”なんですよ。

先人曰く、人間万事塞翁が馬、つらいことがあった後には楽しいことがあります。逆もまたしかりですが。どんなことがあっても、自信をもって人生を描いていってください。あなたが今、抱えている感情、希望でしょうか、不安でしょうか、はたまた、言葉にできないなにかでしょうか。つらかったら周りの大人を頼りにしてみましょう！！またその人が“色”になってくれますよ。

受験生の皆様、どんな受験という名の人生の描く、第一志望を描いていったのか、僕に教えてくれたら幸いです。

「モノクロデッサン」の最後はこの歌詞でしめくられています。

「どの色が欠けてもこの夢の続きは描けないから、いろいろとあるけどめげずにゆくのさ、綺麗な色、嫌いな色、昔好きだったはずの色、この星と大空を彩る。」

S・Sくん 千葉東高校 1年生

千葉東と名乗れるのも、もちろん試験に合格したからですが、そんな簡単に合格したわけではありません。外部の模試ではDやEの判定を連発していたし、Z会内の月例テストもなかなか平均を取ることができませんでした。そんな僕から少し受験生だった頃の話をつか紹介します。1つはメリハリをつけることが大事だ、ということ。受験直前でも、この日は遊ぶと決めたら勉強のことは考えない。逆に、勉強すると決めたら、朝から晩まで、自習室に籠っていました。勉強につかれたときには、早く寝る方が次の日、楽になるのでオススメです。2つ目は、苦手な教科の勉強法について。なかなか点が取れない教科の勉強には正直だれも気が向きません。それだと悪循環に入ってしまう。僕はそれを断ち切るために、好きな教科（僕の場合は数学）の問を1題だけ解いて少しでもモチベーションを上げてから、苦手教科（社会）の勉強をしていました。僕の例ですが参考になれば、幸いです。

最後に、第一志望の学校に行く！という強い信念があれば、成績は良くなる！ということが言いたい。あくまで、僕の体験談ですが、目標がしっかりとさだまれば、おのずと、勉強もはかどります。とにかく、高校生活は忙しいですが、楽しいです！受験生は勉強を頑張れば、楽しく充実した生活が待っています。Take it easy！

G・Iくん 県立船橋高校 1年生

受験生の皆さんへ。僕が伝えたいことは3つあります。

1つ目は「明日行うことの目標を1つたてる」ということです。受験は1日1日の積み重ねだと思います。「今日はこの教科をやる！」「今日は苦手分野にとりくむ！」でも何でもかまいません。とにかく1つずつ目標を達成していくことが大切です。そうすれば自ずと力はついてきます。

2つ目は「高校生活を思い描く」ことです。皆さんは志望校をどのようにして決めましたか？（決めきれない人は早く決めよう！）きっと自分なりの「こだわり」があるはずです。ですが、その「こだわり」を実現することができるかは、今後の皆さんの努力次第です。是非、自分の理想とする高校生活を思い描き、それをモチベーションにして勉強に臨んで下さい。

3つ目は「遊ぶ」ことです。受験勉強ってつらいですよ。今まで部活や遊びに使っていた時間を勉強に割かなければいけないので当然です。ストレスも溜まります。でも、そんな時だからこそ遊びましょう！丸1日勉強のことは忘れてです。良いリフレッシュになりますし、その後の勉強がはかどります。ただ、次の日からはちゃんと勉強に取り組みしましょうね。

以上が僕の伝えたいことでした。これから約半年、時間はあっという間に過ぎていきます。半年を全力で駆け抜けた後は楽しい高校生活がまっているので是非頑張ってください！

H・Mくん 千葉東高校 1年生

僕がみなさんに伝えたいことは、講演会の最後にも言った「高校受験はゴールではないから、その先のためにも今のうちから勉強を頑張ってください！」ということです。高校受験の時に必死になって勉強したことは必ずその先の高校での勉強の基礎となって役に立つ日が来ます。それは実際に高校に入った僕が身をもって感じています。もし今自分がやってる勉強は受験の時にしか使わないから、その場限り覚えればいいやと自分のやっていることに意義を見出せないなら「今自分がやっている勉強は将来の自分のためにやってるんだ」と自分のモチベーションにしていくといいと思います。そのようにして、Z会の先生の中から教わったことはなるべく多く自分のものにしていくと受験本番だけでなくその先にもつながっていくので大事にしていくべきだと自分は思います。まとまらない話になりましたが、今の勉強は今後につながることを意識して日々の勉強をしていき、わからないことがあったらそのままにしないで、先生に質問をして解決をすることを行っていけば必ず結果として表れると思うので、これからも頑張ってください！僕も後輩のみなさんに負けないように頑張ります。ありがとうございました。

K・Mさん 県立千葉高校 1年生

私からは、千葉高校生活を送る中で驚いたことを3つ紹介したいと思います。

1. 「とにかく自由」…千葉高には、一応、校則があります。しかし、実際は、学校指定のベストの代わりに各々買ってきた着たいベストやカーディガンを着たり、リボンを着けたり…と、生徒に多くのことが任せられており、生徒1人1人がのびのびと生活している学校です。
2. 「授業やテストが特殊」…中学校では、教科書の内容を先生が教え、それに基づいて定期テストが行われると思いますが、千葉高では、教科書を理解している前提で、教科書には載っていないような、もっと深い部分まで扱います。もちろん、予習が必須…です（笑）。本当に、多くの教科で中学校とのレベルや雰囲気の違いを痛感します。
3. 「生徒は十人十色」…「高校では、中学とは異なり、自分と同じ位のレベルの人が集まるので、新鮮だ」とはよく言われますが、千葉高には本当に個性豊かな、今まで出会ったことがないような人がたくさんいます。私も、入学後の最初の席で隣だった男の子が、学校にルービックキューブを持ってきて、ものすごい勢いでそろえ始めたのを見て、とても刺激を受けました笑！本当に、互いに刺激し合い、高め合うことができる環境だと思います。

以上の3つから、少しは高校が現実的なものを感じられるようになったでしょうか。と言っても、実際に「志望校合格！」というような夢を実現できるような手応えが掴めない人もいるかもしれません。ですが、皆さんは、まだまだ可能性を秘めていると思います。不安になったり焦ったり、思うようにいかないときがあっても、最後まで諦めずに、頑張ってみてください！！応援しています！！

月	日	曜	受付時間	授業・テスト・模試など※Vもぎ・Wもぎ・駿台模試は3年生が任意で受ける模試です					保護者会・研究会など			
9	1	土	14 ~ 22	休講						夏期講習報告会 一般生対象		
	2	日	10 ~ 20	9月度①		Vもぎ(東京)	私立Vもぎ	Wもぎ	私立Wもぎ			
	3	月	14 ~ 22									
	4	火	14 ~ 22									
	5	水	14 ~ 22									
	6	木			休室							
	7	金	14 ~ 22									
	8	土	12 ~ 22									
	9	日	9 ~ 20	9月度②						10:00~11:50 小6公開実力テスト+講演会		
	10	月	14 ~ 22									
	11	火	14 ~ 22									
	12	水	14 ~ 22									
	13	木			休室							
	14	金	14 ~ 22									
	15	土	10 ~ 22									
	16	日	10 ~ 20	9月度③					Vもぎ(千葉)			
	17	月	14 ~ 22									
	18	火	14 ~ 22									
	19	水	14 ~ 22									
	20	木			休室							
	21	金	14 ~ 22									
	22	土	9 ~ 22							10:30~12:00 小6公開授業+説明会		
	23	日	10 ~ 20	9月度④								
	24	月	14 ~ 22					第3回 駿台模試	Wもぎ			
	25	火	14 ~ 22									
	26	水	14 ~ 22									
	27	木			休室							
	28	金	14 ~ 22									
	29	土	12 ~ 22									
	30	日	9 ~ 20	10月度①	3K 9月度 実力テスト	2V 9月度 月例テスト		1V 9月度 月例テスト				
10	1	月	14 ~ 22									
	2	火	14 ~ 22									
	3	水	14 ~ 22									
	4	木			休室							
	5	金	14 ~ 22									
	6	土	12 ~ 22									
	7	日	10 ~ 20	10月度②				Vもぎ(東京)	Vもぎ(千葉)			

〒134-0084 江戸川区東葛西 6-2-3 第三須三ビル 6階 TEL03-5878-0844

Z会の教室

受付時間 平日 14:00~22:00 日曜日・講習中 10:00~20:00

『葛西通信』の記事(バックナンバー)はWebからもご覧いただけます。

Z会 葛西 検索